

ライオングループは創業120年の長い歴史を社会と共に歩んできました。主力製品は洗剤・ハミガキなど家庭で身近にお使いいただく消費材であり、だからこそ、お客さまの声に真剣に耳を傾け、それを経営に取り入れる努力を今も積み重ねています。その大きな表われの一つが環境問題に対する様々

な活動です。

今から約40年前に日本最初の環境対応洗剤（無リン洗剤 せせらぎ）を発売し、その後も企業責任として、環境問題への取組みを続けてきましたが、特に力を注いだのは生分解性にすぐれ環境に優しい活性剤の探索でした。長年の研究の結果、ついに辿りついたのがパームヤシやココナツヤシを原料とする植物系界面活性剤です。エステルを経由して高純度の活性剤をつくることは、世界初の技術でしたが、ライオンは果敢に挑戦して工業化に成功し、そのエステルを生産する目的で、1989年にライオンオレオケミカル株式会社（*現在のライオンケミカル株式会社オレオケミカル事業所）が坂出市番の州町に設立されました。

現在、当事業所は、植物系脂肪酸メチルエステルを東南アジアより輸入して水素添加を行い、衣料用の洗剤や柔軟材などの家庭品向け原料、潤滑剤や洗浄剤などの化学工業向け原料を生産しています。またパーム油に少量含まれている天然カロテンを輸入・

製剤化し、飲料や食品の着色剤や健康食品向け食品添加物として国内外への供給もしています。

近年は、ライオン製品のハンドソープ・ボディソープ生産拠点として、キレイキレイやhadakaraを生産する他、システム・クリニカといった歯ブラシの生産も開始し、ライオン製品の生産比率は増加傾向にあります。事業変化により、人と設備が多様化しておりますが、まずは安全を第一に考え、事業所一体となって安全安定供給に努めています。

一方、当事業所では生産活動だけではなく、環境保全活動や社会貢献活動にも精力的に取り組んでいます。事業所内の緑地環境を活かし、香川県絶滅危惧種のトンボが生息できるほどの環境を目指して、従業員が手作りでトンボ池（ビオトープ）を造成しました。トンボ池の水質改善・良化を目的に太陽光を利用した水の循環システムを導入し、香川県絶滅危惧種Ⅱ類指定のマイコアカネのほか、香川県や専門家の支援を受けながら様々な種類のトンボの誘致を推進しています。また、その環境を生かす活動として、近隣の子どもたちを招いた自然観察会も行っております。

今後も、事業を通じて地域や社会のお役に立ち続けるように取り組んでまいります。